

あ ざ み

第140号

発行

社会福祉法人 恵風会

〒930-2102 富山市山田宿坊1-8

TEL (076)457-2301 / FAX (076)457-2303

http://www.knei.jp/~azamien/ E-mail azamien@knei.jp



新年度を迎えて

総括施設長 館谷明彦

日頃より、障害者支援施設あざみ園及び各事業所の事業運営に対しまして、ご理解ご支援を頂いておりますことに感謝申し上げます。

新型コロナウイルスについては、令和5年1月27日に新型コロナウイルスウィルス感染症対策本部において、オミクロン株とは大きく病原体が異なる変異株が出現しない限り、5月8日から5類感染症に位置付けることとされました。

また、厚生労働省よりマスクの着用についても、3月13日以降個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることとなりました。

つきましては、感染症法上の位置づけ変更後の障害者支援施設における対応については、引き続き従来の取り組みを継続するよう、指導がありました。

当法人としましては、今年度も関係機関と職員や保護者の皆様と連携し、危機感をもって感染防止対策の徹底を行ってまいり所存です。

マスクの着用についても、基礎疾患を有する方が多いことやクラスター対策などから引き続き施設内でのマスクの着用をお願いしたいと存じます。

現在も行事の中止や活動を自粛せざるを得ない等もどかしい日々が続いていますが、法人としての「新しい生活様式」に努めながら、利用者の皆さんが安心・安全で快適な生活を送れるよう全職員が一丸となって取り組んでまいります。

このような状況でも、常により質の高いサービスを提供するために、利用者一人ひとりの思いをくみ取り、本人に寄り添った支援を提供できるよう研鑽に努めなければならないと考えており、事業内容の検討・充実を図り、豊かな生活の実現のため保護者の皆様と職員が手を携えながら、施設の運営を進めてまいりたいと思っておりますので、今後とも一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

新任職員・異動職員のコメント

定年退職

前多機能型事業所このみ所長 **宮窪千賀子**



あざみ園の開所から
恵風会にお世話になり、
利用者、保護者、職員

の皆様を支えられ今年定年を迎える
ことができました。この35年間いつも
心掛けたのは「ワクワク・ドキドキす
る心を持つ」ことでした。そのせいか、
利用者さんとの楽しい時間を過ごす
ことができ、楽しい思い出がいっぱい
です。本当にありがとうございます。
今後も引き続き皆さんと楽しく過
ごせたらと思っています。どうぞよろ
しくお願いします。

前あざみ園 主幹 **田中由美子**



福祉のことが全くわ
からない私でしたが、
縁あってあざみ園に勤
め32年が過ぎ、定年退職を迎える事
になりました。無事定年を迎えること
ができたのは、利用者さんの笑顔、保
護者、職員の皆さんの支えによるもの
と心から感謝しています。

4月1日からは嘱託職員として、引
き続きあざみ園のほうで利用者さん
が健康に過ごせるよう支援させてい
たきます。今後ともよろしく願ひ
します。

新任職員

あざみ園 生活支援員 **岩井 萌瑠**



この度4月1日より、
新しく生活支援員とな
りました岩井です。

温かい先輩方にご指導いただきな
がら、利用者のみなさんに明るく心地
よく過ごしてもらえようじぶんな
りに励みたいと思います。どうぞよろ
しくお願いいたします。

富山市生活介護事業所第2あすなろ
生活支援員 **清水 千智**



4月から新規採用さ
れた清水千智です。皆
さんと仲良く、楽しく
過ごせたら幸いです。不慣れで、まだ
まだ分からないことばかりですが、自
分にできることを一つずつこなして、
頑張ります。これから、よろしく願
ひいたします。

あざみ園 看護師 **福田 珠美**



今年度4月より、あ
ざみ園にて勤務するこ
とになりました。利用
者の皆さんが、健康で楽しく生活を
送ることができるようサポートしてい
きたいと思ひます。よろしく願ひし
ます。

異動職員

北滝めぐみ

恵風会相談支援事業所あざみ所長
(兼務) 相談支援専門員

あざみ園支援課長(兼務) 恵風会
相談支援事業所あざみ所長

山崎 吉史

障害者支援施設あざみ園支援課長
どんぐり工房所長(兼務)
サービス管理責任者

坪島 浩三

婦中生活介護事業所つつじ所長
富山市生活介護事業所
第1あすなろ所長

森 正親

B型事業所どんぐり工房
主幹サービス管理責任者
第1あすなろ支援係主幹

小森 朋美

第2あすなろ支援係生活支援員
第1あすなろ支援係生活支援員

宮窪千賀子

多機能型事業所このみ所長
婦中生活介護事業所つつじ所長

岩黒 友治

富山市生活介護事業所
第1あすなろ所長
多機能型事業所このみ所長



自治会だより

お別れ会

R5.3.31

田中さんが定年退職。森さんがあすなろに異動となりました。

お別れ会では職員のスピーチを聞き、涙を流す利用者さんもおられました。利用者さんから花束や色紙が贈られ、明るくお別れ会を終える事が出来ました。

田中さんは再雇用のため、今年度からもまた宜しくお願い致します！！



ゆとりの時間

映画鑑賞会

R5.2.21

DVD鑑賞会を行いました。今回は「可愛いやつ！」というリクエストがあったので『崖の上のポニョ』を上映しました♪お菓子とジュースを堪能しながら大画面で観るそうちゃんとポニョが可愛く、皆さん笑顔で観ておられました。



ピクニック

R5.3.14

猿倉山森林公園へピクニックに行きました！
「外気持ちいいね～」とたくさんの笑顔！
綺麗な空気と青空の下でのびのびと過ごし、良い気分転換になりました！



年度末会

R5.3.24

かたくり寮年度末会は、いつもより高級なスイーツやデザートを含めたお菓子やジュースを準備し、豪華なおやつ会を開きました！

今回は好きなおやつを選んで食べるビュッフェ形式のおやつ会で、「これ食べたい」、「あれもおいしそう」と、楽しみながら1年の疲れを癒しました！

かたくり寮



R5.3.20

みずほ寮

今回のみずほ寮年度末会は、豪華なお寿司弁当を購入し食事会を開きました！

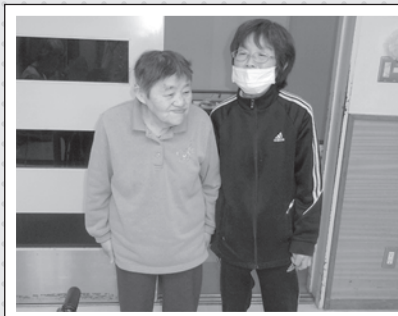
「おいしい」という言葉が飛び交うにぎやかな空間で、1年の疲れを癒しながら、笑顔あふれる楽しい時間を過ごしました！



R5.3.16

やまぶき寮

1年間お疲れ様ということでやまぶき寮内で年度末会を開きました！石場さんが「いただきます」のあいさつをしてくれました。いつもと違うケーキやジュースをみんなで味わいました。みなさん、素敵な笑顔で楽しいひと時を過ごしておられました。



富山市生活介護事業所 **あすなろ**

第1あすなろ

手裏剣投げ ゆとりの時間

R5.2.16



妖怪や動物の的に向かって大小様々な手裏剣を投げて得点を競いました。

真っすぐ飛んだり、カーブしながら飛んだり様々な軌道が皆を楽しませてくれました。



紙相撲大会 レクリエーション

R5.2.21



毎年恒例となっている紙相撲大会。それぞれ自分が「これ！」と思った力士を土俵に乗せ「はっけよい、のこった!!」皆さん白熱した戦いが繰り広げられていました。



第2あすなろ

足湯 年度末会

R5.3.22



みんなでバスに乗って春日温泉にある春日公園の湯にて足湯を行いました。改装をしたばかりということで建物も、遠くに見える立山連峰もとても綺麗でした。天候もよく足湯の後は芝生で日向ぼっこ。春を感じた1日でした。



花見 ゆとりの時間 R5.3.28

バスに乗り、富山市塩の千本桜を見に行きました。桜並木がとてもきれいだっただけでも、真下をみんなで歩きました。天候もよく花見を存分に楽しむことが出来ました。



婦中生活介護事業所

つつじ

ワンドフル ディ!

R5.2.17

今回のワンドフル ディ!は、「えらぶ」ことを楽しみました。皆さんいろいろ悩みながら、自分の好きなメニューや活動を選んで、楽しいひと時を過ごしました。

● ランチ編

カレーを3種類から選びました。お好みのカレーは？

- ・チキンカレー？
- ・ほうれん草と豆のカレー？
- ・なすのキーマカレー？

つつじ人気1位メニューは…「チキンカレー」でした！



● 余暇活動編

今日楽しみたい活動は？

- ・バスハイク？
- ・音楽？

● ティータイム編

今日飲みたいものは？

- ・コーヒー？
- ・ジュース？



多機能型事業所

このみ

楽学研修会

R5.3.3

このみランチルームにて楽学研修会が開かれました。

楽学研修会では利用者さんが社会情勢やモラル等を学び、自分たちで考えて行動できるような機会を提供しています。

今回はSDGsや環境問題について学び、身近な環境を守るためにこのみ内で出来る事を、利用者さん自身で考えました。実践でもごみの分別に挑戦し、みんな真剣な表情でした。節電、節水、ゴミの分別に心がけていきましょうね！



デイ合同 お楽しみ会

R5.3.24

婦中体育館にてデイ合同お楽しみ会が開かれました。

ビーチバレー、ポートボール、フットサルの3種目を楽しみました。

みんなボールを追いかけて楽しんでいました。白熱して大盛り上がりでした。



ポートボール



フットサル



ビーチバレー

職員研修参加報告

障害福祉サービス等事業所におけるBCP策定等支援研修

第2あすなる主査 福田 亨

BCP（事業継続計画）について2日間に分けてリモートの研修に参加しました。基礎編の初日はBCPとは何か。BCP策定がなぜ必要なのか。感染症、災害時それぞれどのようなポイントを抑える必要があるのか説明を受けました。BCPとは災害などの緊急事態における企業や団体の事業継続計画です。防災対策とは異なり、目的は「事業の継続」であり、具体的な行動指針を示すものとなります。自然災害や大事故、不祥事、パンデミック等に遭遇した場合において、損害、被害を最小限に抑えつつ、中核となる事業を休止することなく実施、もしくは早期復旧を可能とさせる内容になります。またBCPは法人単位で作成すること。一人で作ってみんなに配布するのではなく、職員全員で話し合い作成するものと説明がありました。

2日目の個別編では通所系サービス対象を受け、通所ならではBCP策定内容の説明を受けました。講師の片桐氏が実際にコロナ感染症に対してどのような対応をしてきたのか経験談を含め話されました。感染症では2、3年前であれば通所ではコロナ陽性者が2、3人確認されれば閉所していましたが、現在では閉所することもなく、職員の陽性者が増えてくると閉所する形としています。また、職員間での感染拡大は電話やPCなど共有する物から移る可能性が高く、引継ぎ等情報伝達を行う際に職員が集まることでリスクが高まることでした。感染症に関して

は職員が集まらない環境作りを話しが始まり、いかにICT（情報通信技術）を上手く使って情報の伝達を行うのかを重点的に話をされました。片桐氏の事業所では、今までは職員同士の引継ぎ等では個人のLINEを使っており、個人情報が見えないところで飛び交っていた為、「LINEWORKS」というツールに変更。このツールは従来のLINEの機能に加え、誰が既読なのか確認できるということです。仕事中もこの機能を使って職員間で情報の伝達を行っているとのこと。従来は職員また保護者への連絡は電話で行っており、コロナの濃厚接触者が出ると全員に連絡をしなければならなく、とても時間がかかっていたそうです。それも「さくら連絡網」というツールに変更。一斉連絡ツールでありLINE、メール、アプリの選択肢から個々に設定し送ることが出来る仕組みです。これもきちんと内容が届いている、確認されているなどの細かい情報

が送り側から確認出来るものです。地震、津波などの災害時の話では情報通信がほぼ使えなくなりアナログな対応が必要とのこと。被災した地域の電話やLINEも使えなく、地域外との連携が必要となってきます。（災害地域から外れると電話等使える）ボランティアに

関しても応募はたくさん来るが十人十色で必要に応じて受け入れが必要であり、ボランティアコーディネーターとして法人外の人に行ってもらおうのが良いとのことでした。ボランティアを無理に入れないで、必要な人が必要など自施設で難しいこともあるため第三者が行うことが望ましいとのことでした。

2024年3月末までにBCP策定を

完了させる必要があり、今後法人等で話し合うことが必要不可欠となっていました。中核事業、復旧優先事業を選定し、恵風会のBCPを本年度中に作り上げなければなりません。一人ひとりが自分には何が出来るのかを考え、BCP策定をゴールとせず、常に変化を続ける現状を把握、分析しながら継続的に改善を行い、BCPが想定通りに機能するか定期的

重症心身障害児(者)の介護研修会

第2あすなる生活支援員

岡本 沙里

今回の研修では、初日に重症心身者の病棟を見学させていただきました。

そこでは、療育の時間が行われており見学したところでは、自作の回転する台に車いすをのせて保育士さんや看護師さんが台を回して感覚を楽しむという活動が行われていました。自作のリハビリ道具だとお聞きし驚きました。

その後の講義では、病院内でコロナ禍という中で行事活動についての講義が行われました。リモートを使い、他の病棟をつなげて製作の様子を見合いながら行ったり、保護者とリモートで顔を合わせて行事の様子を見せたりすることが行われたと話があり、コロナ禍でも楽しめるように工夫がなされていることがよく分かりました。

摂食機能の実技の際には、ペースト食やとろみ食の試食を行いました。今の嚥下調整食には、乳製品用や炭酸の飲み物をそのままの（しゅわしゅわ）の感覚で、摂取できるものがありおいしく感じる事が出来ました。

次の講義では、作業療法について行われました。利用者の方が実際に使っている力ルタや製作の時に実際に使う、押すだけで

切ることが出来るハサミを見ることが出来ました。また、実技では隣の席の人と目だけを使ってコミュニケーションをとることを行いました。「好きな食べ物」というお題で紙に果物などから二つ選んで書いて、目で好きな絵の方を見てもらう方法やイエスの時には隣きをしてもらう方法を改めて体験しました。社会情勢の変化と救急対応の講義では、重症心身障害者の骨折が多いことがよく理解できました。移乗の際や体位転換の時に、ベッドの柵に軽くぶつかってしまっただけで骨折につながったと話されており大変さを感じました。

2日目では、まずポジショニング・呼吸ケアということで姿勢の種類や介助上の注意点を学びました。その後、場所を移動して実技として体位転換や移乗を人形で行いました。側臥位の際には、介助する人の右側に立って左の肩を左手で引きながら体で前の方に押すということが難しいと感じました。

日常生活援助の講義では、動画で効果的吸入時の様子を見ることが出来ました。消毒の徹底をしてから行うことにとても気を付けていて、吸入を行う際には声掛けを行い吸入することが注意とされていました。

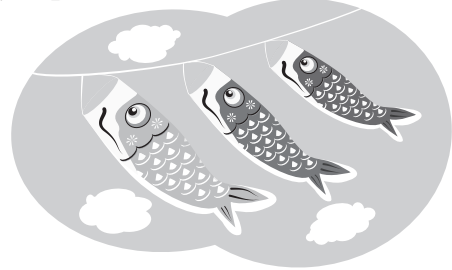
感染管理の講義では、感染症の予防策について講義していただきました。濡れたタオルなどを床などに置くことで菌の繁殖が抑制されることを聞き、改めて気を付けなくてはならないと感じました。また、手袋には見えない小さな穴があいているため、そこに菌が入り込み使ったら処分が必須だと話されました。全体的に重症心身者にかかわる際には、とても大変だと感じました。しかし、看護師さんも保育士さんもどの方も楽しく過ごせるように、落ち着いて過ごせるように皆さんの努力をされていることがよくわかり、自身の支援でも取り入れていきたいと感じることがたくさんありました。学んだことを生かして、普段の支援に取り組んでいきたいと思えます。

2024年3月末までにBCP策定を



羽根の家ニュース

4月9日来園日後に沢連公園にて春の晴天の中、優雅に泳ぐこいのぼりを見学してきました。皆さん季節の変わり目を暖かい日差しの中、感じておられました。



A Z A M I



善意の心

ありがとうございます
(令和5年2月〜令和5年4月) (敬称略)

あざみ園

・上農 俊子

・田中 清美

・あすなる

・匿名

◆ボランティアありがとうございます

(令和5年2月〜令和5年4月) (敬称略)

・日赤奉仕団 (シート交換)

新規利用者

・多機能型事業所このみ 3名

・富山市生活介護事業所 1名

・第1あすなる 1名

・富山市生活介護事業所 1名

・第2あすなる 1名

編集後記

冬の寒さも去り、穏やかな暖かさがやってきました。今年は桜の開花宣言も早く、山田の桜にも気づけば緑色が表れています。去る3月21日、侍ジャパンがWBCを制覇し、14年ぶりの世界一に輝きました！野球ファンの私はもちろん、野球を知らない方々も一丸となって応援していたのが、何より喜ばしいことでした。
新年度になり、新しい仕事、新しい人との出会いと、あわただしくなりますが、皆さん力を最後まで振り絞って乗り越えていきましょー！



一緒に働きませんか？

職員募集!!

【正規職員】

- ・生活支援員
- ・看護師

【嘱託職員】

- ・生活支援員
- ・看護師
- ・世話人
- ・調理員

詳細は☎ 076-457-2301 まで

